

## 実力ベースの学習計画

外国語学習科目群

科目：日本語 1 (㉮31209)

項目：前置詞の役割

高校 1 年

時間目：100 分

教師名：タナンパット・タンティコンパン

### 学習基準と指標

#### 学習項目 1 コミュニケーションのための言語

トー1.2 の基準：情報交換に言語コミュニケーション能力があって、効率的に感情や意見を表現する。

##### 指標

トー1.2 モー4/1 自分のこと・様々な身近なこと・日常生活の状況について情報交換をするのに簡単な言葉で会話できる。

トー1.2 モー4/4 自分・友達・家族・身近なことに関する情報の依頼または共有をするために話せたり書けたりする。

トー1.3 の基準：話すことや書くことで「情報・概念・様々なことに対する意見」を発表する。

トー1.3 モー4/1 自分・友達・日常生活・周りの環境について話せたり書けたりする。

トー1.3 モー4/3 身近なことに対する意見を簡単に話せたり書けたりする。

#### 学習項目 2 言語と文化

トー2.1 の基準：言語とネイティブの文化との関係を理解する。適切に使い分けることができる。

##### 指標

トー1.3 モー4/1 会話している中に日本の社会的なマナーや文化に従って、言葉、語気、ジェスチャーを使用する。

#### 学習項目 4 言語と、コミュニティや世界との関係

トー2.1 の基準：校内・コミュニティ・社会の様々な場面で外国語を使用する。

##### 指標

トー1.4 モー4/1 教室、教育機関、日常生活で発生する実際の状況または模擬状況で言語でコミュニケーションを取る。

#### 本質/概念

前置詞はフレーズまたは文内で 1 つの単語と他の単語を接続するために使用される単語である。通常は場所に関わる名詞であって、その場所に出現する名詞の位置をより明確に特定するために使用される。日本語での前置詞は例えば、「うえ、した、みぎ、ひだり、なか、そと、まんなか、まわり、そば、となり」などである。そして、場所を特定する文章によく出てくる。例えば、「場所の 前置詞に N があります/います。」、「N は 場所の 前置詞にあります/います。」などである。

## 学習内容

### 単語の面

- 前置詞：うえ、した、そと、なか、ひだり、みぎ、まえ、うしろ、となり、そば、まんなか、まわり、あいだ
- 校内や教室で現れる物や場所に関する単語：がっこう、きょうしつ、コンピュータ、テレビ、本棚、こくばん、かばん、とけい、つくえ、いす、など。

### 文法の面

- 名詞 (N) は 場所の 前置詞にあります/います。
- 場所の 前置詞に 名詞 (N) があります/います。

### コミュニケーションの面

- 前置詞を使用して特定の場所における人・動物・物などの存在について会話を  
する。
- 前置詞を使用して特定の場所における人・動物・物などの存在についての説明  
を自分のワークとして発表する。

## 学習目的

### 知識の面【Knowledge】

学習者ができるのは、

- 学生は前置詞の単語が伝えられる。
- 学生は文章に前置詞を使用する原則や構造について理解できる。



### スキルと処理過程の面【Process】



- 学生は前置詞が含まれている文章が話せたり、伝えられたりする。
- 学生はもらった課題に対して、創造的な作品が作成できる。

### 望ましい特性の面【Attitude】

- 学習者に勉強熱心・仕事に対する行動熱心が出てくる。

## 学習管理過程

活動	学習者の実力	実力を表す行動
<p><u>学課の導入段階</u></p> <p>1) 先生は学生に挨拶を言う。</p> <p>2) 先生は学生に前置詞の単語を復習させるために、「上下前後ろ」の歌を一緒に歌ってもらう。その後、先生はもう一度復習させるために「前置詞の単語」の絵を挙げて、学生の皆に日本語で教えてもらう。</p> <p>3) 先生はこの絵  (机の上にある本)、そして  (机の下にいる猫) を見せて、学生に見た絵によって皆で一緒に文章を作成してもらう。</p> <p>* 学生が作成する文章は下記の通り推測した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本は机にあります。</li> <li>2. ねこはいすにいます。</li> </ol> <p>先生は学生が文章が作成できたことを褒める。それから、先生は学生に「本はテーブルにあります/猫は椅子にいます。しかし、先生は N の場所についてもっと明確にすることができますか? どうやって?」と尋ねる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション能力。</li> <li>- 思考能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生は理由または元の知識を持って、自分の意見を表現することができる。</li> <li>- 先生の質問に対して回答ができる。</li> </ul>
<p><u>教育段階</u></p> <p>1) 先生は学生に元知識での N が現れる文 (場所に N があります/います。・ N は場所にあります/います。) にどの部分に前置詞を入れたら良いのかを一緒に意見を出してもらう。ただし、学生が分析できない場合に先生が学生に一つずつの質問をして、ヒントを教える。一方で、もし分析できた学生がいたら、先生はその人の意見を取り上げて話す。それから、学生は助詞が必要かどうかを分析続けて、必要であったらどの助詞で良いか? について皆に意見交換をしてもらう。</p> <p>2) 学生が協力して文章の中に前置詞の単語をどのように配置するか、どの助詞を使用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション能力。</li> <li>- 思考能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生は、自分自身の元知識に基づいて、意見・アイデアを表現し、どうあるべきかについて予測が表明できる。</li> <li>- 文中で使用しなければならない前置詞や助詞の位置が分析できる。それより、特定の位置での名詞の出現に関して正しく話し、文</li> </ul>

<p>かについて話し合って答えを見つけたら、学生が一致認識を持つために先生は両方の絵から本と猫の登場に関する文法が正しい文章「<u>場所の前置詞</u>にあります/います。」を再度提示する。</p>   <p>3) 先生は「みぎのいす」という例を挙げる。(文章の構造が「前置詞の場合」)そして、挙げられた文章は文法的に正しいかどうか、そのように使用できるかどうかについて学生に意見を表現してもらおう。</p> <p>4) その後、学生が両方の文章の構造が使用できる可能性があるかどうかを分析できるように、絵を提示する。その間、各グループの学生に皆で分析してもらって、先生が各グループの意見を聞く。ただし、聞いている途中で「可能!」と答えたグループがあった場合、先生はその理由、そして「前置詞の場合」という文章の構造を使える確率を聞く。それから、理解を確認するために、先生と学生はもう一度「場所の前置詞」と「前置詞の場合」という文型を使うシナリオの例を挙げる。これで、クラス全体の共通認識が確認できる。</p>		<p>章を書くことができる。</p>
<p><u>基本練習の段階</u></p> <p>1) 先生は学生に「N は場所の前置詞にあります/います。」という文型に従って、文章を作成してもらおう。その前に先生は学生に部屋の写真のカードを配る。そして、学生に部屋に物を置いてもらおうが、置くところで「N は場所の前置詞にあります/います。」を言わなければならない。(グループワーク)その間、先生は各グループが正しくやっているかどうか確認する。</p> <p>2) その後、先生は学生に、リビングルームにおける N の存在について説明する練習を行うためのワークシートを配る。学生にペアになってもらって、一人が A で、もう一人に B になる。それから、ワークシートに指定される 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション能力。</li> <li>- 思考能力。</li> <li>- 問題解決能力。</li> <li>- ライフスキルを活用する能力。</li> <li>- テクノロジーを活用する能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生は自分の意見を表現したり、他の人の意見を聞いたりした上で、自分が間違えたところを改善する。</li> <li>- 学生は「N は場所の前置詞にあります/います。」という文型に従って正確に文章を作成することができる。</li> <li>- 学生は自分が分からない単語の意味を調べるのに自分で様々な方法で知識を求める。</li> </ul>

<p>つの物を教室の絵に描く。そして、N の存在について話す練習をする。（ワークシートに書かれている単語は学生が分からないものばかりだが、自由に調べても良い（先生・友達に相談したり、辞書・インターネットなどで調べたりすることができる））</p> <p>次に、指定されている3つの物がどこにあるのかを交代で順番に尋ねる。回答が出たら、相手の回答の通りに絵を描いて、自分達のワークシートで出来た絵に基づいて文章で説明する。文章が正しいかどうかを学生同士でチェックしてもらおう。皆がワークシートをやり終わった後、先生は当てもなく学生を選んで、学生のワークシートでのリビングルームにどこに何かが現れるかについて質問する。その間に他の学生と一緒に確認してもらおう。間違えが出たら、クラスの皆に正確に修正してもらおう。</p> <p><u>応用練習の段階</u></p> <p>1) 先生は各グループの学生に「わたしたちのきょうしつ」というテーマのポスターを作成してもらおう。ポスターを作るには何のツールを使用しても良いが、指定されたのはその中にある物が5つ以上10つ未満になっている。ポスターをお洒落にしても良いが、表示される文章には前置詞がなくてはならない。ただし、使用される前置詞は様々な単語にしなければならない。一つの前置詞の単語は2文章までしか使用できない。</p> <p>2) 先生は学生に発表を準備させるために3分の時間をあげる。発表では挨拶や感謝の言葉がなくてはならない。</p>		<p>（友達と問答すること・テクノロジーを活用することなど）</p> <p>- 学生はチームワークで行動できる。そして、作品の作成を成功するために、グループ内での管理・行動過程・方針があつて、責任を分担する。作品の作成や問題解決にはテクノロジーを活用する時もある。</p>
<p><u>発表の段階</u></p> <p>1) 学生はクラスの前で自分のグループの作品を発表する。座っている学生達は先生に配られた発表評価基準のフォームを用いて評価す</p>	<p>- コミュニケーション能力。</p> <p>- 思考能力。</p>	<p>- 学生は自分のグループの作品が素晴らしく発表できる。それより、充実した内容が揃</p>

<p>る。各グループの発表が終わった後に、その発表をしたグループに評価フォームを渡す。</p> <p>2) 先生は各グループにもらった評価フォームの結果を読んでもらう。評価された結果によって、皆で自分達の発表について良かった点と悪かった点を分析する。それから、先生は各グループに同僚に評価された結果で良かった部分と改善するべきな部分について聞く。</p>		<p>っていて、指定された基準に従う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生は評価された結果を分析して、その意見を受け入れる。そして、ガイドラインとして活用し、作品をさらに発展させることができる。</li> </ul>
<p><u>まとめ</u></p> <p>1) 先生は学生に「N の存在場所は特定できるか？」・「自分がよくできたのは何だろう。」・「改善するべきなところは何だろう。」について自分を評価してもらう。</p> <p>2) 先生は自己評価に対する意見を聞くために、当てもなく学生を選ぶ。</p> <p>3) 先生は学生に宿題をあげる。この宿題に関しては学生が家の一部屋を選んで、Padlet のプログラムで 5 - 6 文章を作成しなければならない。そして、全部の文章に「前置詞」を使用する必要がある。最後に学生に評価する方法を伝える。</p> <p>4) その後、学生が疑問していることや質問したいことを先生に聞く機会をあげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニケーション能力。</li> <li>- 思考能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生は自己評価ができて、自分の意見を表現することができる。</li> </ul>

## 成果の評価

評価する項目	方法	ツール	評価基準
<p><b>知識の面【K】</b></p> <p>1. 学生は前置詞の単語を教えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 観察</li> <li>- 質問の使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 練習問題</li> <li>- 反省のための質問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 練習問題での正しい回答から評価する。</li> </ul> <p><b>評価者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教師</li> </ul>

<p>2. 学生は文章に前置詞を使用する原則や文型について理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 観察</li> <li>- 質問の使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 練習問題</li> <li>- 反省のための質問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 練習問題での正しい回答から評価する。</li> </ul> <p><b>評価者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教師</li> </ul>
<p><b>スキルと処理過程の面【P】</b></p> <p>1. 学生は前置詞が含まれている文章が話せたり、コミュニケーションが取れたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生の日本語を話す行動を観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 授業中の日本語での話しの評価フォーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 日本語で話す活動にどのくらい協力したかを評価する。75%以上であれば合格とみなす。 (15点以上であれば合格)</li> </ul> <p><b>評価者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教師</li> </ul>
<p>2. 学生はもらった課題に対して、創造的な作品が作成できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 評価すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 発表に対する評価フォーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- クラスの前で発表したことを表示する。75%以上であれば合格とみなす。 (15点以上であれば合格)</li> </ul> <p><b>評価者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教師</li> </ul>
<p><b>望ましい特性の面【A】</b></p> <p>1. 学習者に勉強熱心・仕事に対する行動熱心が出てくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学習に対する行動を観察すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 望ましい特性の評価フォーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学生は望ましい特性の評価フォームで全体的に良いという評価以上もらったら合格。</li> </ul> <p><b>評価者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教師</li> </ul>

## クラスメディア・学習資源

- あきことともだちの教科書の1巻
- 練習問題
- パワポ
- インターネット

観察記録フォームと望ましい特性の面における行動の全体的な評価

項目：前置詞の役割

科目コード：nj31209 2024年度の前期 高校1年 クラス4/4（日本語学習）

SA-NGUAN YING 学校

**指図：**

学習者が全体的な活動で日本語を使っているかどうかを観察して、行動のレベルに合う点数レベルの欄に✓を付ける。下記の通り、5レベルがある。

点数レベル レベル3は、行動が多く見られることを意味する。

レベル2は、行動が中程度に見られることを意味する。

レベル1は、行動が少なく見られることを意味する。

番号	学習者の行動	点数レベル		
		3	2	1
1.	活動に関心を持ったこと			
2.	意見を表現するのに参加した			
3.	他者の意見を受け入れたこと			
4.	知識を求めるために、様々な方法を活用した			
5.	割り当てられた通りに仕事をした			
合計				
質レベル				

**採点基準**

レベル3：行動が良いレベルになっている。

レベル2：行動が程良いレベルになっている。

レベル1：行動が改善必要のレベルになっている。

合格基準 60% (9点)

**評価基準 満点 15点**

13-15点：良い

9-12点：程良い

5-8点：改善必要

署名.....

(タナンパット・タンティコンパン)

教師/評価者

**望ましい特性の面における行動の評価基準**

項目：前置詞の役割

科目コード：aj31209 2024年度の前期 高校1年 クラス4/4 (日本語学習)

SA-NGUAN YING 学校

評価項目	点数レベル (質レベル)		
	1 (良い)	2 (程良い)	3 (改善必要)
活動に関心を持ったこと	授業時間中にずっと意志を持って、定期的に活動に参加した。	授業時間中に時々活動に参加した。	授業時間中に活動に全然参加しなかった。
意見を表現するのに参加した	意志を持って、定期的に自分の意見を表現した。	時々自分の意見を表現した。	自分の意見を全然表現しなかった。
他者の意見を受け入れたこと	関心を持って、定期的に他者の意見を受け入れた。	時々他者の意見を受け入れた。	他者の意見を全然受け入れなかった。
知識を求めるために、様々な方法を活用した	自分に適切な知識を求めるために、様々な方法を活用した。	ある程度の方法で自分に適切な知識や不適切なものを求めた。	知識を求める興味がなかったため、何の方法もなかった。
割り当てられた通りに仕事をした	意志を持って、割り当てられた仕事を締切りまでに全力でやって成功できた。	意志を持っていなかったが、割り当てられた仕事を締切りまでに成功できた。	意志を持っていないため、割り当てられた仕事を締切りまでに成功できなかった。

## 発表評価基準

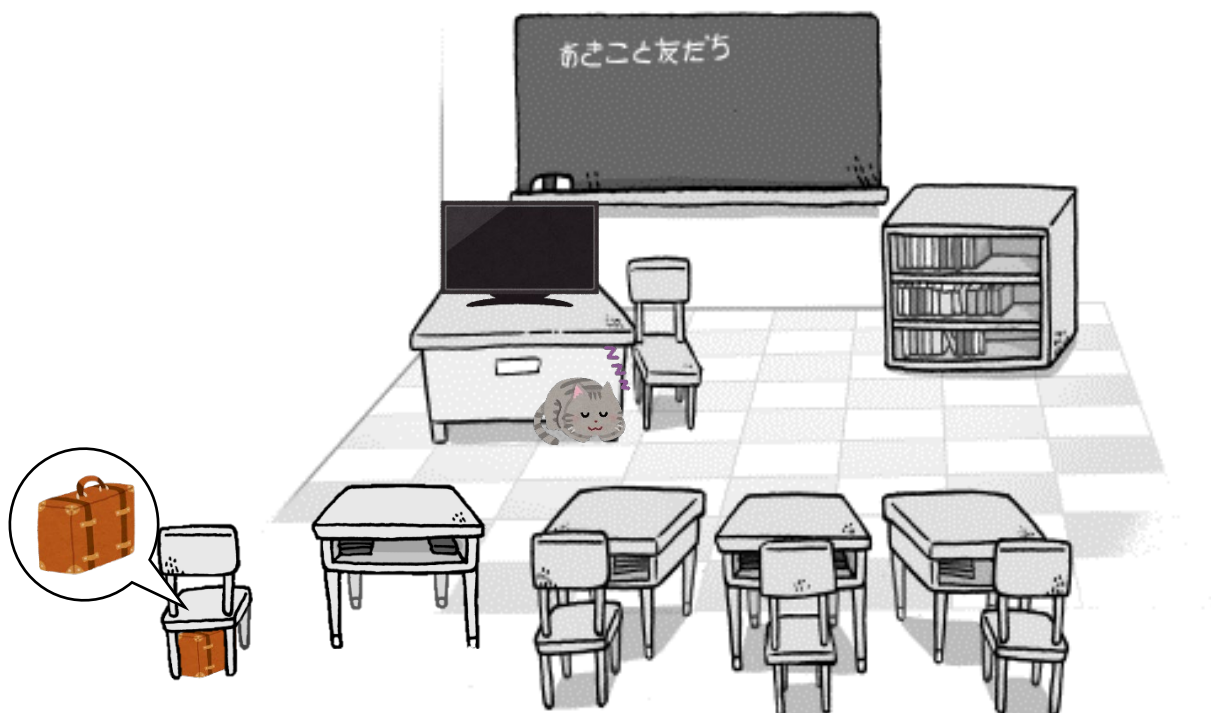
科目：Ϸ31209 日本語 1 高校 1 年の学生（クラス 4/4）2024 年度

評価項目	採点基準の意味				重さ/ 重要性	合計点数
	4	3	2	1		
正確度	文法の原則に従って、単語、そして文型を完璧で正確に使った。発表された内容をよく理解できた。	文法の原則に従って、単語、そして文型を大体正確に使ったが、間違えてしまったのが1-2点だった。発表された内容を理解できた。	使った単語、そして文型でまだ理解できたが、間違えてしまったのが3-4点だった。発表された内容をまだ理解できた。	使った単語、そして文型で間違えてしまったのは4点より多かった。そこで、発表された内容を理解するのに難しかった。	1	5
発表の流暢さ	流暢な発表ができて、適切で自然な語気で発表した。	どもりながら発表して、ある部分で使った語気があまり自然にならなかった。ただし、発表された内容は大体理解できた。	単語でしか話せなくて、時々途切れた。そこで、自然なコミュニケーションが取れなかった。ジェスチャーと語気も不自然だった。	タイ語と日本語を混ぜて発表したので、伝えることが勘違いされやすかった。発表する内容に対するジェスチャーと語気が不適だった。	1	5
発表の創造性	面白くて、分かりやすく、要点を押さえた発表ができた。	面白くて、分かりやすい発表ができたが、要点から少し偏差があった。	発表があまり面白くなくて、少し分かりにくかった。そして、要点から外れた。	発表が面白くなくて、分かりにくかった。要点から完全に外れた。	1	5
発表の役割分担	グループメンバー全員が発表に参加した。	グループメンバー4-5人だけ発表した。	グループメンバー2-3人しか発表しなかった。	グループメンバーから1人しか発表しなかった。		5
<b>合計</b>						<b>20</b>

なまえ..... ばんごう.....

A

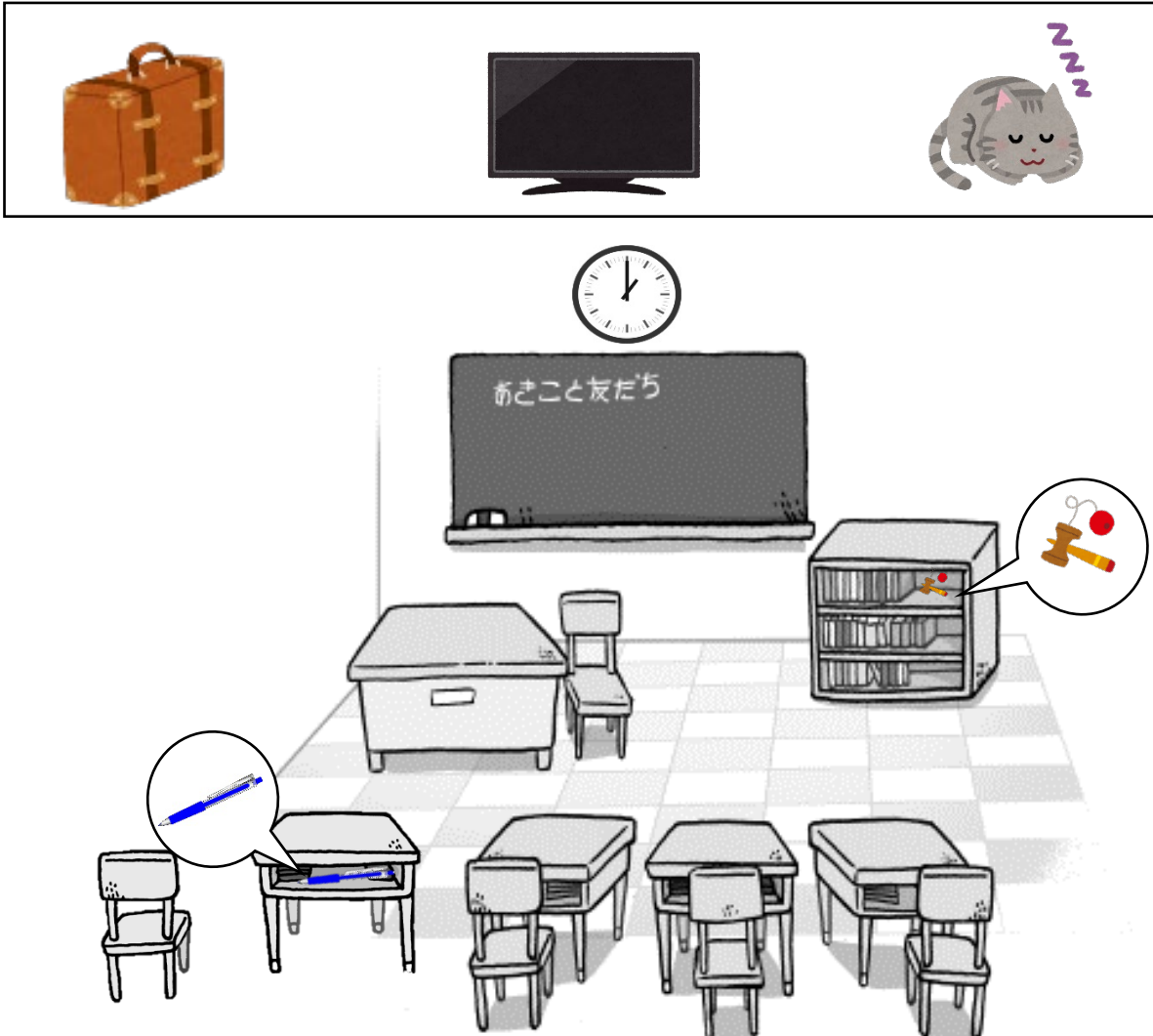
れんしゅう 1.1 指図：友達とペアになって、四角に囲まれている物・生き物は教室の中にどこに現れているか、相手に聞いてください。それから、教室の絵に相手に聞いた答えを描いてください



れんしゅう 1.2 指図：現れている物は教室のどこにあるか、文章を作成して説明してください。ただし、全ての文章に前置詞を使わなければなりません。

- 1. \_\_\_\_\_
- 2. \_\_\_\_\_
- 3. \_\_\_\_\_
- 4. \_\_\_\_\_
- 5. \_\_\_\_\_
- 6. \_\_\_\_\_

れんしゅう 1.1 指図：友達とペアになって、四角に囲まれている物・生き物は教室の中にどこに現れているか、相手に聞いてください。それから、教室の絵に相手に聞いた答えを描いてください。



れんしゅう 1.2 指図：現れている物は教室のどこにあるか、文章を作成して説明してください。ただし、全ての文章に前置詞を使わなければなりません。

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_
6. \_\_\_\_\_

クラスメディア

: ビデオ

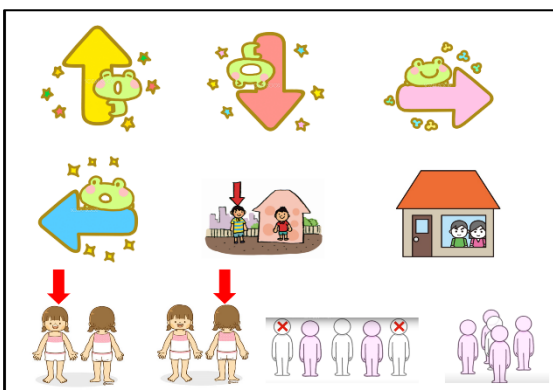
うえ した まえ うし  
上 下 前 後ろ



[เพลง] ข้างบนข้างล่างข้างหน้าข้างหลัง♪上下前後ろの歌♪

Link : [https://www.youtube.com/watch?v=3COBqgYA-\\_Q](https://www.youtube.com/watch?v=3COBqgYA-_Q)

: 授業に活用されるパワポの例



**สถานที่ の คำระบุตำแหน่ง**

○ → **いすのみぎ**

**คำระบุตำแหน่ง** の **สถานที่**

← **みぎのいす**

**N は 場所に います / あります。**

**の**

คำระบุตำแหน่ง

**れんしゅう ②**

れい) A : すみません、N は どこですか。

B : N ですか。 場所 の 位置 です。  
/ に あります・います。

A : どうも ありがとうございます。

**れんしゅう ①**

ตกแต่งห้องเรียนของตนเอง

**場所に N が います / あります。**

**N は 場所に います / あります。**

**きょうのしゅくだい**

ให้นักเรียนบรรยายห้องภายในบ้าน (ห้องใดห้องหนึ่ง) 5 - 6 ประโยค โดยต้องระบุ "ตำแหน่ง" ในทุกประโยค ผ่านโปรแกรม Padlet (10 นาที)

**グループでさくひんをつくりましょう**

れい) **こうえん**

1. 男のこのどなりに犬がいます。  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_  
4. \_\_\_\_\_  
5. \_\_\_\_\_

**さいしょ**  
**さいご**  
**じこしょうかい**